

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.217
2021.9.30

特集
写真で振り返る
南山大学
75年のあゆみ



山里町へ移転した当初のキャンパス
写真：南山アーカイブズ所蔵

NANZAN
UNIVERSITY

HISTORY OF NANZAN UNIVERSITY

つなごう、未来へ



写真で振り返る南山 大学75年のあゆみ

南山大学は、2021年に創立75周年を迎えます。
1946年に設置された南山外国語専門学校を前身として
開学した南山大学75年のあゆみを紹介します。



バツペ・スクエアの噴水前で遊ぶ学生たち



瀬戸キャンパスを設置 (2000年)



名古屋キャンパス航空写真 (2007年)



春のグリーンエリア (2002年)



上野戦第60回大会は11勝20敗1引分で総合準優勝 (2019年)



人工芝グラウンド完成 (2019年)



南山外国語専門学校本校舎



ガーデンパーティー。研究室棟のライトはNU(南山大学)を浮かび上がらせている (1977年)



至誠室にて行われた外専第2回卒業式 (1950年)



上野戦第1回大会からの正式種目であるサッカー。1950年創部



上野戦第30回大会は17-17で引き分け、接戦に次ぐ接戦が繰り返された (1989年)



南山大学創立50周年記念式典



名古屋キャンパスフレッシュマン祭 (2008年)



南山大学コミュニケーションロゴ、エンブレム制定 (2002年)



大学の知的財産を社会に還元するために開催している小中学生向け講座 (2017年)



1963年1回公演から続く野外宗教劇「受難」



ゆかたフェスが毎年の夏の風物詩に



多文化交流ラウンジ Stella を開設。新たな国際交流の場となる (2017年)

●南山外国語専門学校(英語科・華語科)設立
1946 1949

●名古屋市昭和区山里町の新校舎(現在のキャンパス)に移転
1964 1968

●瀬戸キャンパスを設置 (2017年3月閉鎖)
1984 2000

●南山短期大学を南山大学短期大学部に名称変更し、名古屋キャンパスに移転 (2020年3月閉学)
2011 2017

●全学部・全学科を名古屋キャンパスに統合
2017 2021

●南山大学創立75周年
2021

●南山大学(文学部英文・仏文・独文・中国の4学科)設立。同第二部(夜間部)を併設

●南山短期大学(英語科)を設置

●神学科・大学院神学専攻課程が「在名古屋南山大学教皇庁認可神学部」としてローマ教皇庁により認可



初代学長アロイジオ・バツペ師



外専から南山大学への校旗継承 (1951年)



南山短期大学校舎



J. ヒルシュマイヤー師の経営史ゼミ (1976年)



瀬戸キャンパス航空写真 (2000年)



Center for Japanese Studies(CJS)で学ぶ留学生 (2003年)



上野戦第47回大会には南山大学が4連覇を達成 (2006年)



名古屋キャンパス大学祭 (2010年)



食堂・クラブハウス棟「リアン(フランス語で絆)」を建設。名称は学生・教職員からの公募により決定した (2016年)



オンライン型国際協働学習を留年やインターシップと組み合わせたプログラム「NU-COIL」が始動 (2018年)



大学開学記念式典 (1949年)



設立時の大学校舎(五軒家町) (1950年)



南山短期大学初代学長
フーベルト・フラッテン師



人類学研究所附属陳列室での研究 (1972年)



ハーバード大学のグリーンクラブが中国・日本への演奏旅行のとき来学し、メルクワイヤーと交歓演奏会を催す (1982年)



新校舎落成式典参加者の様子 (1964年)



外部施設にて執り行われた入学式 (2006年)



瀬戸キャンパス大学祭(聖南祭) (2016年)



人類学博物館がR棟地下へ移転しリニューアルオープンした (2013年)



2017年～レームド・リノベーション・プロジェクトを実施。改修した教室棟が第30回BELCA賞を受賞した (2021年)



創立75周年を迎える (2021年)

Events 75周年記念イベントのお知らせ

2021.9.11 10:00
南山大学創立75周年
記念式典・記念講演会
南山大学フラッテンホール
/オンライン

〈第1部〉

■記念式典

■記念講演会の前に

〈第2部〉

■記念講演会

◇南山大学の礎「外専」からの75年
青木 清 副学長(総務・特務兼務担当)

◇講演「神言会のもう一つの顔」
菊地 功 カトリック東京大司教

◇座談会「南山大学100周年に向けて～過去・現在・未来～」
菊地 功 カトリック東京大司教
ミカエル・カルマン 南山大学第6代学長
鳥巢 義文 南山大学第7代学長
ロバート・キサラ 南山大学第8代学長

2021.10.9 15:00
南山大学創立75周年記念イベント
「オルガンコンサート」
神言神学院大聖堂

演奏者: 椎名雄一郎氏
(活水女子大学音楽学部教授)
曲目: [J.S.バツハ] 幻想曲とフーガ
ト短調 BWV542 など

2021.10.31 13:00
大学・同窓会共催
南山大学創立75周年記念講演会
南山大学G30教室

講師: 佐藤 啓氏 (中京テレビアナウンサー)
聞き手: 佐藤麻美氏 (フリーアナウンサー)
南山出身唯一のプロ野球選手・滝良彦氏(外2期 華語)の生涯を描いたノンフィクションの著者である中京テレビアナウンサー佐藤 啓氏(大35期教育)に、著書のご紹介や執筆時のエピソードなどを大いに語っていただきます。さらに、聞き手としてフリーアナウンサーの佐藤麻美氏(大47期 経済)をお招きし、講演を盛り上げていただきます。

2021.11.20-21
南山大学創立75周年記念企画
2021年度小・中学生向け講座
南山大学フラッテンホール

南山大学の知的財産を地域社会に還元するため、地域の皆様に向けて小・中学生向け講座を開催します。
11.20(土)「世界とつながってどういこと?国際交流について考えてみよう」
講師: 山田 貴将 講師(国際センター)、藤掛 千絵 講師(国際センター)
11.21(日)「自作のエレキギター機材を用いた電気電子工学の醍醐味」
講師: 藤井 隆之 教授(理工学部電子情報工学科)

2021.11.20
南山大学創立75周年記念企画
第6回南山大学カトリック文庫講座
「浦上のキリシタン、高木仙衛門のこゝろ
-明治政府は、なぜキリシタン禁制高札を撤去したか-」
南山大学R63教室

講師: 高木慶子氏
(カトリック援助修道会会員・上智大学グリーンフェア
研究所名誉所長)

上記イベントは、今後の状況によって、内容が変更となる可能性があります。

活躍する南山大生

ラクロス部女子2名が全国強化指定選手に選出されました!

南山大学ラクロス部女子の山内理紗子さん(経済学部4年)、中嶋はるなさん(総合政策学部3年)が、2021年度女子全国強化指定選手に選ばれました。この全国強化指定選手は、2022年に行われるIWGAワールドゲームズ(国際スポーツ競技大会)に向けた活動をするための代表選手となります。

山内さんはこれまでに「19歳以下女子日本代表」「2020年度女子日本代表」に選出され、2019年度東海地区リーグ戦では得点王に輝きました。中嶋さんは「2019年度東海ユース」に選出され、2020年度東海地区特別大会でMVPを獲得しました。

南山大学ラクロス部女子は、学生日本一を達成すべく日々練習に励んでいます。今後とも応援よろしくお願いします!



2019年度東海地区リーグ戦決勝戦でのアピールランニング(山内さん)



2020年度東海地区特別大会で得点を決めた後(中嶋さん)

自身の留学経験を後輩に広めたい! 「NaSIP」リーダーとして活躍

南山大学は、学生の海外留学を応援する文部科学省のSIPS*事業に参加しています。本学ではこの取り組みを国際センターインターンシップの一環として「NaSIP(ナシップ)」と呼び、そのリーダーを水谷元春さん(人文学部4年)が務めています。

水谷さんは、1年生の夏に国際センター主催の短期留学プログラムでオーストラリアのSouthern Cross Universityへ1ヶ月留学。その後、2年生の秋からフランスの協定校École de Management Bretagne Atlantiqueへ交換留学に行きました。

短期留学プログラムと交換留学という2つのプログラムに参加して得た経験を後輩に広め、本学の留学・グローバル化やSIPS事業を盛り上げたいという思いでNaSIPに応募し、現在は留学経験者によるテーマ別のトークライブや協定校紹介イベント、Instagramで留学関連の情報発信といった活動の企画・運営に携わっています。



留学経験者トークライブ「お金のお悩み相談会」や「世界の大学オープンキャンパス」などを企画・運営した水谷さん

*SIPS(Staff & student Initiative for Promoting Study abroad)とは、文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」事務局が主催する事業で、留学経験者の学生と教職員が連携し、1つのチームとして多くの学生の海外留学を応援するプラットフォームです。

私の研究

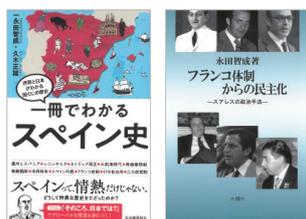


永田 智成 (ながた ともなり)
外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学 准教授
専攻分野: スペイン政治史、比較政治学
研究テーマ: 連邦制的分権化改革、民主化論
主な担当科目: スペインの政治、スペイン史、スペイン特殊研究

が訪れるとは限らない。いわゆる民主化は難しいものだな。それが研究を始めたきっかけでした。

ではなぜスペイン研究なのかというと、スペインの民主化は数少ない成功事例として、比較政治学では有名な話でした。しかしスペインの事例は、あまりにうまくいったため、奇跡などという言葉で片付けられ、その成果はほぼ無視されていました。そこで、政治史研究の成果などを織り交ぜて詳細に分析しました。その成果が「フランク体制からの民主化」という拙著です。

引き続きスペイン研究を軸に連邦制の導入の効果など民主化の発展について研究しています。



著書の表紙

デモクラシーは最高ではないが最悪でもない

私の専門分野は政治学です。特に比較政治学や政治史を専門としています。研究対象としている地域はスペインです。比較政治学というと、よどこの国とどこの国を比較しているのですか?と聞かれますが、比較政治学は奇妙なことに、学問名がその目的を示していません。比較政治学は比較することが目的ではなくその手段に過ぎません。理論と事例を突き合わせることで、更なる理論的な発展を目指す学問分野です。このように定義すれば、スペインという一国研究の立場でも十分比較政治学を研究することができるというわけです。

ところで、私が政治学を志すきっかけとなった出来事は、今から約20年前に開始されたイラク戦争でした。爆弾を落として「悪い」奴らを倒しても、必ずしも平和

私のクラス



RAJCANI, Jakub (ライチャーニヤコブ)
人文学部キリスト教学科 准教授
専攻分野: 倫理神学、キリスト教倫理、実践神学
研究テーマ: 人間の自己同一性の形成、自然本性とは何か、幸福感
主な担当科目: キリスト教倫理学(基礎論、各論)、実践神学、性と生命における人間の尊厳

全ての命の価値を考えて

私が担当している授業では様々な角度から人間の道徳的な生活を考えています。例えば、その成り立ち、異なる価値観の摩擦、日常生活で起こりうる葛藤などに目を向けて分析します。方法論としてはキリスト教神学が提供する伝承と概念を使って現実を見つめています。見つめている事柄は宗教的な倫理を超えて、誰にでも共通しているものです。「キリスト教倫理学各論A」を例にして、人間の生命に関連する具体的なトピックを取り上げて、特に昔から今に至るまで生命が危険に晒されてきた現象を紹介すると共に、道徳的に評価します。主に命の始まり(妊娠中絶、体外受精)や命の終わり(自殺、死刑)の場合、多種多様な生命が傷つきやすいことが多いです。人間らしい道徳的な生き方のためには、気持ちでその都度行動す

るのではなく、はっきりとした原理を持ち一貫した論理に基づいて行動することが重要です。最近、メディアに溢れる幹細胞の研究や生殖補助医療など、世論だけを参考にするのはではなく、各自でその正体を弁える必要があります。このような考察は、まず神学者や哲学者が歴史的に考えたことを土台とし、他の学問が提供している事実を照らし合わせて為されます。学生に求めているのも、結論を先に自分のものにするというよりも、技術的な可能性や有益性ではなく、その人間の生き方に相応しい善さを理解した上で、判断ができることなのです。



授業の様子

2021.6.23

「南山チャレンジプロジェクト」採択通知授与式

6月23日に、2021年度「南山チャレンジプロジェクト」の採択通知授与式を行いました。

「南山チャレンジプロジェクト」は、学生による学内を活性化させる企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。

◆「チャレンジ企画型」

5つの募集テーマ(①上智大学と南山大学の交流を促進する企画、②南山大学を活性化させる活動、③学びを深める活動、④地域交流活動、⑤国際交流活動)に沿った学生企画の課外活動を募集し、選考の結果、計4件を採択しました。

2021年度南山チャレンジプロジェクト[チャレンジ企画型]採択団体



申請テーマ③

南山大学石器研究グループ

人類文化学科の学生を中心とし、2020年度から岐阜県下呂市湯ヶ峰を主なフィールドとして考古学的な手法に基づいた学術調査を実施してきました。その過程で、湯ヶ峰の石器時代遺跡群は文化的価値があるにも関わらず、活用されていない現実を知りました。それを広く周知するために、本プロジェクトの支援金で観光客向けのハイキングの実施、解説冊子や紹介看板の作成、学内イベントで口頭発表を行います。



申請テーマ③

虹のシアネモネ 「南山レインボープライド」

南山大学内のLGBT+およびSOGI(セクシャルオリエンテーション&ジェンダーアイデンティティ)の意識、認知の向上を目指します。具体的にはキャンパス内に啓蒙ポスターの掲示、図書館内に関連図書を集めたコーナーの設置、非営利法人によるワークショップと団体独自のワークショップの開催(対面もしくはオンライン)、LGBT+の象徴モチーフをデザインしたバッジの配布、基礎知識を深めるための冊子の作成および配布を予定しています。



申請テーマ③

One Step

これまで南山大学の有志団体として「食を通じた難民支援」をテーマとして活動し、難民のふるさとの味を再現した学食でのメニュー企画やキリスト教センターイベントでのお菓子販売を行いました。今回のプロジェクトでは情報誌を作成し、それを配布することで、南山大学の学生に難民の現状を知ってもらうことが目標です。冊子作成のために外部講師を招いた講演会やメンバー内の勉強会を実施します。



申請テーマ①

Johanan Meets

「戦わない上南戦」をコンセプトに上智大学と南山大学の新しい交流の形を構築します。上智大学の学生団体「nexus」や両大学の上南戦実行委員会とも連携し、InstagramやTwitterで1つのアカウントを用いて、上南戦の宣伝や各大学の紹介企画を発信します。これまでの上南戦は体育系団体の交流がメインでしたが、文化系団体の交流の場を広げます。また、Johanan Meetsのロゴを用いたグッズを作成し、認知度向上に努めます。

◆「産学連携企画型」

ポン菓子を製造している家田製菓株式会社との産学連携企画の推進に、意欲と目的意識を持った南山大生(個人)を募集し、選考の結果、計8人を採択しました。学部学科の垣根を越えて学生たちがこれから約1年間かけて、産学連携のプロジェクトを推進していきます。



採択の様子

2021.7.13

第5回 南山ゆかたフェス

7月13日に、南山ゆかたフェスを2年ぶりに開催しました。今年度は南山大学創立75周年プロジェクト学生企画とコラボレーションし、多くの学生・教職員に楽しんでもらえるイベントを実施しました。ゆかたの無料着付けや販売、メインストリートでの撮影会、南山チャレンジプロジェクト(産学連携型)による実演カーでのポン菓子販売、縁日、フォトコンテスト、スタンプラリーなどのイベントが大盛況でした。



※撮影時のみマスクを外しています。

2021.7.12-2021.7.22

夏のフレッシュマン祭

7月12日から7月22日にかけて、体育会執行委員会・文化会執行委員会が主体となり、感染症対策を講じた上で、夏のフレッシュマン祭を開催しました。新入生向けにクラブ紹介をするため、キャンパス内でチラシの配布やポスターの掲示、G30教室にてクラブ紹介動画の上映を実施しました。



2021.7.20

災害用非常食の無料配布

7月20日に、G30教室前にて賞味期限が近くなった災害用非常食を無料で配布しました。これは食品ロスの削減および防災意識の向上を目的に行われたものです。当日は、肉じゃが、さば味噌煮と水が配布され、多くの学生が列を作っていました。



2021.7.20

アンブセット贈呈式

株式会社名古屋銀行取扱いの私募債制度「SDGs・寄贈型私募債『未来への絆』」を利用して、大竹金属株式会社様より、多文化交流ラウンジStellaで使用するアンブセットを寄贈いただきました。贈呈式は7月20日にStellaにて行われました。寄贈いただきましたアンブセットは今後の国際交流のイベント等に活用していきます。



▲(左)国際センター長・山岸教授
(右)大竹金属株式会社代表取締役・大竹様

2021.7.17-2021.7.18

オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、キャンパスへ来場する大学開催型と、自宅から参加するオンライン開催型を同時開催しました。

7月1日から特設ページを開設し、入試概要、留学制度、就職・キャリアサポート、各学部紹介など動画による大学紹介を行いました。

7月17日、18日は、各学科の教員による模擬授業や学部の学び、入試、奨学金、留学、就職などについての個別相談をはじめ、学科・学生企画やキャンパスツアーを実施しました。

どの企画も盛況で、2日間で約3,200名の方にご参加いただきました。



▲体育センターで実施した個別相談

2021.7.21

世界の大学オープンキャンパス

7月21日に、海外留学応援プロジェクトNaSIP主催のオンラインイベント「世界の大学オープンキャンパス」を実施しました。このイベントでは、12名の交換留学経験者が自身の留学先大学や街の特徴、留学前のイメージとの違いなどを学生目線で紹介するとともに、参加者からの質問に回答しました。参加者の満足度も高く、「今まで英語圏の国にしか興味がなかったが、それ以外の国の大学のことも知ることができた」といった感想が寄せられました。



■ 南山大学ヤンセン国際寮 開寮

2022年4月、キャンパス隣接地に新たに国際学生宿舎「南山大学ヤンセン国際寮」が開寮します。本学生宿舎は留学生と日本人学生が共同で暮らす混住型の宿舎で、最大の特徴は全入居者を対象にした「教育プログラム」です。ダイバーシティ&インクルージョンに焦点をあてたもので、入居者は、教育プログラムやキャンパスでの学びをそのまま宿舎の中で実践しながら、国境を越えて活躍できる人材に必要なスキルを身につけます。教育プログラムを大学宿舎の基軸に据えた取組みは東海地方ではまだ多くなく、本学生宿舎も広く活発な国際交流を促し、本学の国際化を推進するものになると考えています。



**JANSSEN
INTERNATIONAL
RESIDENCE**
南山大学ヤンセン国際寮

■ 施設概要

名称: 南山大学ヤンセン国際寮
所在地: 名古屋市昭和区八雲町138番1
構造: 地上4階建
収容人数: 178名
対象: 外国人留学生・日本人学生
入居費: 月額6万円
(別途教育プログラム費が必要)



■ 新たな国際交流プログラムがスタート

本学学生と海外協定校の学生が気軽に国際交流を楽しむことのできるオンラインプラットフォーム「CJS Online Cafe『和(なごみ)』」と「Modern Japan Discussion Table」が今年4月から始まりました。教員や学生TAのファシリテーションのもと、「和」の参加者は日本語で自由な会話を楽しみ、

「Modern Japan Discussion Table」の参加者は、日本の文化や社会、政治などに関連したテーマについて英語でディスカッションをしています。コロナ禍で海外留学や留学生の渡日が滞る中、本学学生と海外の学生との交流の場となっています。



▲「Modern Japan Discussion Table」の様子

キャリア支援課 プログラム紹介

ランチタイムに キャリアサポートプログラムを実施します!

キャリア支援課主催のプログラムは、授業が少ない水曜日の午後や平日の5限以降に開催していますが、部活動やサークル活動等でなかなか参加できない学生の皆さんも参加しやすいように、ランチタイムにもセミナーを実施しています。お昼ごはんを食べながらの参加も可能です。授業の合間を活用し、ご自身のキャリアについて考えてみましょう。

〈実施予定のプログラム〉

秋冬インターンシップ講座

・日時: 2021年10月12日(火) 12:50~13:20
・対象: 2年生・3年生

はじめてのインターンシップ講座

・日時: 2021年10月19日(火) 12:50~13:20
・対象: 1年生・2年生

・内容: 年々重要度が高まっている秋・冬インターンシップについて、またこれからはじめてインターンシップに参加しようとしている1・2年生の皆さんに、参加に向けての心構え、企業・機関の選び方などをお伝えします。

学生生活デザイン・セミナー

・日時: 確定次第、PORTAおよび大学公式webページ「キャリア支援課」でお知らせいたします。

<http://office.nanzan-u.ac.jp/CAREER/index.html>

・対象: 2年生推奨

・内容: 自分自身の現状を理解し、これからの学生生活で何ができるか考えるためのプログラムです。自分自身の課題や目標を考える材料として適性テストを受検し、結果を参考にしながら今後に向けた目標設定を行います。

※プログラムの申込み方法等詳細は今後PORTAで公開予定です。学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

秋学期のキャリア支援課プログラム紹介

低学年から万全の体制でキャリア形成をサポートしています。学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

キャリアサポートプログラム(全学年対象)

10月	テーマ別ワークショップ 「女性の働き方」「グローバル社会での人材」など	ワークを通じて、テーマ毎に必要な能力・資質とは何かを考えます。
-----	--	---------------------------------

就職支援プログラム(2023年3月卒業予定者対象)

9月	第2回就職ガイダンス【文理別】	先輩の体験談、秋学期のスケジュールの確認など
9月 ~11月	就職対策講座【文理別】 「筆記試験対策」「自己理解・自己PR」 「志望動機」「業界研究」「面接対策」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
10月 ・11月	業界・職種研究会【公務機関】	国・地方など各機関の担当の方から業務内容や仕事のやりがい等についてお話を伺います。
11月 ~1月	筆記試験対策	SPI3テストセンター対策模試、玉手箱対策模試
11月 ~1月	業界・職種研究会【文理別】	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性等についてお話を伺います。
12月	グループ選考・ エントリーシート対策	他大学交流型グループディスカッション対策講座、ES準備ワークショップ
12月	面接対策	面接準備ワークショップ
1月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前総まとめ講座
3月	学内会社説明会 【2020年度実績: 文系 295社/ 理系 82社】	南山大生を対象とした会社説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、Uターンガイダンスや外国人留学生ガイダンス、障がいのある学生のためのガイダンスを実施します。

※就職相談は随時受け付けています。

国際教養学部の中村督准教授が、「渋沢・クローデル賞」本賞を受賞

国際教養学部の中村督准教授の著書『言論と経営 戦後フランス社会における「知識人の雑誌」』が、「渋沢・クローデル賞」本賞を受賞しました。

この賞は、日仏会館と読売新聞社が主催する学術賞で、日仏両国において、それぞれ相手国の文化に關してなされたすぐれた研究成果に対して贈られます。

中村准教授の著書については、独自に入手した

データが多数掲載されており、資料に語る強みを遺憾なく発揮している点、また、おびただしいデータの挿入にもかかわらず、記述が細切れにならず、息の長い読み物として読ませる筆力が高く評価されました。「戦後史研究の分野で近年まれに見る傑作であり、渋沢・クローデル賞本賞に最もふさわしい」という選評を受賞しました。



▲受賞した中村准教授

理工学部の梅比良正弘教授が、電子情報通信学会 第82回功績賞を受賞

理工学部電子情報工学科の梅比良正弘教授が、一般社団法人電子情報通信学会「第82回功績賞」を受賞しました。

経済学部の川本真哉教授が、証券経済学会・優秀論文賞を受賞

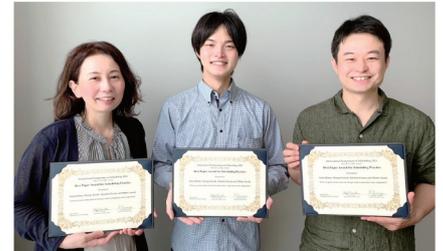
経済学部の川本真哉教授の論文「MBOはパフォーマンスを改善させたのか：株式非公開化に関する実証分析」が、証券経済学会・優秀論文賞を受賞しました。

理工学研究科システム数理専攻の学生らが、International Symposium on Scheduling 2021 (ISS2021)で Best Paper Award for Scheduling Practiceを受賞

理工学研究科システム数理専攻 博士後期課程 1年 佐々木美裕研究室所属の日比野尋伯さん、理工学部小市俊悟准教授、佐々木美裕教授が International Symposium on Scheduling 2021 (ISS2021)で Best Paper Award for Scheduling Practice を受賞しました。

本国際シンポジウムは、スケジューリング学会主催で、2021年6月25～27日にオンライン

にて開催されました。日比野さんが発表した論文「Point-to-point airline network design under cooperation and competition」は、日比野さんの修士論文の内容をベースにまとめて投稿したもので、航空会社が新規参入する場合を想定し、既存会社との協力と競合の双方を考慮したネットワーク設計モデルを提案しており、優秀であると評価されました。



▲(左から)受賞した佐々木教授、日比野さん、小市准教授

南山のDNA

日本一の花の産地、愛知から



太田 春菜
経営学部経営学科
国際経営コース
2003年度卒業

Profile

大学卒業後に、エン・ジャパン株式会社へ入社。営業・企画を経て退職。その後ABCクッキングスタジオに講師兼営業として入社。2013年にはHANAイノベーション株式会社のスタートアップに携わり現在に至る。花男子プロジェクト事務局。花の国日本協議会ワーキンググループリーダー。

私は現在、HANAイノベーション株式会社という花業界のソーシャルビジネスのスタートアップに携わり10年目になります。

皆さんは愛知県が58年間、日本一の花の生産地ということをご存知ですか。私の実家は愛知県で40年以上バラの生産をしています。しかし、国内全体で見ると花の産出額は1998年頃をピークに、この20年ほどで40%ダウンしています。このままいくと愛知県の一大産業が廃れてしまう。そんな危機感をきっかけに、国内で花を贈る男性を増やしていく「花男子プロジェクト」という活動をスタートしました。

花を贈る感動を全国に発信しながら、現代表とともに会社を起業しました。

ピーク時には、日本は世界一花を生産している国



でした。そして、愛知県は日本の花文化を牽引してきた、といっても過言でないほど、高い技術を持った花の生産者が大勢いらっしゃいます。そのような大切な産業を守り、成長させていくために、これまで花を使っていなかった企業等に新たに花の提案をしています。また、現在は愛知県など行政の皆さんと一緒に、花の消費拡大に向けたプロモーションなどを行っています。今後も花の生産者の皆さんが、花を作っていて良かったと改めて思ってもらえるような面白い挑戦を続けたいと思います。

私が南山大学を卒業し、早くも19年目を迎えました。

た。社会で中堅として活躍を期待される今になり思うのは、南山大学で得られた仲間が国内外で活躍する姿が大きな刺激となり、自分自身を高めてくれているということです。



私は在学中、経営学科国際経営コースを専攻していました。このコースは、現在はありませんが、アメリカの経営学を日本で学べる少人数のコースで、学生の半数近くが帰国子女という少しインターナショナルな雰囲気でした。英語のビジネス書を使って、海外の先生が英語で教えてくれる講義はまさに南山らしく、国際的な視野を持ったビジネスパーソンとして活躍できる基礎を教えていただいたように思います。

2020年度決算・2021年度予算について

2017年度から2021年度にわたって行われていますキャンパス整備計画「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」におきましては、2020年度の構内舗装や照明の整備等をもって、主要な工事はほぼ完了いたしました。

このプロジェクトは、本学キャンパスの設計者であるアントニン・レーモンド氏の設計思想である「自然を基本として」を継承するものでありますが、これまでに「第4回インフラメンテナンス大賞(国土交通省主催)」の文部科学大臣賞や、「第30回BELCA賞」を受賞するなど、非常に高い社会的評価を獲得しています。

本学では、「NANZAN BULLETIN」「南山大学概要」「南山大学公式Webページ」において財政状況を公開し、透明性確保に努めています。今回は、2020年度決算および2021年度予算の概要について、財務諸表をもとに説明させていただきます。

2020年度決算について

第1表は資金収支計算書であり、本学における1年間の活動に伴う収入と支出の資金の記録です。(以下、予算額は補正予算額を指す)

収入の部では、手数料収入が予算額に対して45百万円減少となりました。これは2021年度入学試験の受験者数が、前年度よりも少なかったことによるものです。また、寄付金収入は、レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金や新型コロナウイルス対策学生応援募金などへの支援が多く寄せられ、予算額に対して15百万円の増加となりました。受取利息・配当金収入の増加は、法人部門で管理している有価証券の配当増加によるものです。

支出の部は、教育研究経費支出が予算額に対して320百万円の減少と変動が大きくなっていますが、例年この支出は決算時において、予算額より200百～300百万円程度減少するものです。2020年度は新型コロナウイルス感染症により、例年に比べ光熱水費や旅費など経常的な支出は抑えられましたが、一方で学生1人あたり5万円の支給(学修環境整備給付金)、オンライン授業実施のための機材購入・サポート体制の強化、対面授業再開以降の教室棟の消毒作業委託など、例年には無い支出の増加も生じており、影響は支出減少・増加の両面に及びました。

なお、例年南山学園の設立母体である神言修道会から、本学に勤務する神言修道会会員の人件費節約額として本学への財政支援がなされています。2020年度は総額15百万円の援助があり、パッセ研究奨励金の原資とし

第1表 2020年度 資金収支計算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予算額	決算額	差異
学生生徒等納付金収入	9,546,250	9,547,424	△ 1,174
手数料収入	649,101	604,568	44,533
寄付金収入	232,220	246,931	△ 14,641
補助金収入	1,406,904	1,413,848	△ 6,944
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	136,974	131,741	5,233
受取利息・配当金収入	86,797	118,438	△ 31,641
雑収入	408,132	442,245	△ 34,113
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,876,236	1,902,042	△ 25,806
その他の収入	2,888,919	2,819,790	69,129
資金収入調整勘定	△ 2,359,709	△ 2,418,721	59,012
当期収入合計	14,871,894	14,808,306	63,588
前年度繰越支払資金	33,394,886	33,394,886	0
収入の部合計	48,266,780	48,203,192	63,588

支出の部			
科 目	予算額	決算額	差異
人件費支出 (退職金支出)	6,921,874	6,814,165	107,709
教育研究経費支出	3,325,016	3,005,401	319,615
管理経費支出	676,593	552,050	124,543
借入金等利息支出	65,470	65,466	4
借入金等返済支出	512,750	512,750	0
施設関係支出	387,456	393,501	△ 6,045
設備関係支出	197,300	178,747	18,553
資産運用支出	443,002	443,002	0
その他の支出	3,245,632	3,274,542	△ 28,910
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 354,501	△ 565,352	210,851
法人本部費配賦額	4,218	12,947	△ 8,729
当期支出合計	15,424,810	14,687,219	737,591
翌年度繰越支払資金	32,841,970	33,515,973	△ 674,003
支出の部合計	48,266,780	48,203,192	63,588

て充当しました。

第2表の活動区分資金収支計算書は、教育、施設整備等、その他の3つの活

第2表 2020年度 活動区分資金収支計算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
教育活動資金収支			
学生生徒等納付金収入	9,546,250	9,547,424	△ 1,174
手数料収入	649,101	604,568	44,533
特別寄付金収入	227,128	241,680	△ 14,552
一般寄付金収入	5,162	5,251	△ 89
経常費等補助金収入	1,371,793	1,378,737	△ 6,944
付随事業収入	136,974	131,741	5,233
雑収入	402,995	435,707	△ 32,712
教育活動資金収入計	12,339,403	12,345,108	△ 5,705
人件費支出	6,921,874	6,814,165	107,709
教育研究経費支出	3,325,016	3,005,401	319,615
管理経費支出	675,272	547,405	127,867
教育活動資金支出計	10,922,162	10,366,971	555,191
差引	1,417,241	1,978,137	△ 560,896
調整勘定等	△ 745,206	△ 595,850	△ 149,356
教育活動資金収支差額	672,035	1,382,287	△ 710,252
施設整備等活動資金収支			
施設設備補助金収入	35,111	35,111	0
施設整備等活動資金収入計	35,111	35,111	0
施設関係支出	387,456	393,501	△ 6,045
設備関係支出	197,300	178,747	18,553
減価償却引当特定資産繰入支出	143,000	143,000	0
施設整備等活動資金支出計	727,756	715,248	12,508
差引	△ 692,645	△ 680,137	△ 12,508
調整勘定等	△ 391,140	△ 361,177	△ 29,963
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,083,785	△ 1,041,314	△ 42,471
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 411,750	340,973	△ 752,723
その他の活動資金収支			
学生緊急支援引当特定資産取崩収入	300,000	185,820	114,180
南山大学短期留学奨学金引当特定資産取崩収入	300,000	300,000	0
長期貸付金回収収入	31,402	27,888	3,514
短期貸付金回収収入	0	0	0
預り金受入収入	2,106,392	2,135,354	△ 28,962
貯蔵品売却収入	0	0	0
その他の収入	2,217	21,269	△ 19,052
小計	2,740,011	2,670,331	69,680
受取利息・配当金収入	86,797	118,438	△ 31,641
過年度修正収入	5,137	6,538	△ 1,401
その他の活動資金収入計	2,831,945	2,795,307	36,638
借入金等返済支出	512,750	512,750	0
イ・ハツ工国際交流奨励金引当特定資産繰入支出	2	2	0
学生緊急支援引当特定資産繰入支出	300,000	300,000	0
長期貸付金支払支出	7,900	1,100	6,800
短期貸付金支払支出	1,500	0	1,500
預り金支払支出	2,070,265	2,089,511	△ 19,246
その他の支出	9,685	28,773	△ 19,088
小計	2,902,102	2,932,136	△ 30,034
借入金等利息支出	65,470	65,466	4
過年度修正支出	1,321	4,644	△ 3,323
その他の活動資金支出計	2,968,893	3,002,246	△ 33,353
差引	△ 136,948	△ 206,939	69,991
調整勘定等	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 136,948	△ 206,939	69,991
予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	4,218	12,947	△ 8,729
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	△ 552,916	121,087	△ 674,003
前年度繰越支払資金	33,394,886	33,394,886	0
翌年度繰越支払資金	32,841,970	33,515,973	△ 674,003

動区分毎に資金収支を見ることができるようにした計算書です。教育活動資金収支は、学生生徒等納付金・補助金・寄付金などの収入と人件費・教育研究経費支出など、本来の学校教育活動に係る収入・支出です。第2表を見ていただくと、教育活動資金収支は1,382百万円の収入超過となっています。施設整備等活動資金収支はレーモンド・リノベーション・プロジェクトの支払が多額であるため、1,041百万円の支出超過です。その他の活動資金収支は207百万円の支出超過となっており、法人本部費配賦額13百万円の支出を含め、南山大学全体では121百万円の資金増加となっています。

第1表の資金収支計算書が、本学の資金にかかる収入および支出の顛末を表しているのに対し、第3表の事業活動収支計算書では、本学の経営状態が健全かどうかを見るための収支状況を表しています。第3表は第2表同様に3つの活動区分に分かれており、それぞれの区分毎の収支状況を見ることができます。この3つの活動区分のうち、特別収支を除く、教育活動収支と教育活動外収支の合計である経常収支により、学校の経営状況を見ることができます。経常収支差額は581百万円の収入超過となりましたが、当年度収支差額はレーモンド・リノベーション・プロジェクトによる基本金組入額が高額であることにより、579百万円の支出超過となっています。

第4表の貸借対照表は、年度末時点における資産、負債、純資産(基本金

第3表 2020年度 事業活動収支計算書

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	予算額	決算額	差異
教育活動収支			
事業活動収入	12,345,108	12,345,108	0
事業活動支出	10,962,821	10,962,821	0
教育活動収支差額	△ 13,151	527,921	△ 541,072
教育活動外収支			
事業活動収入	86,797	118,438	△ 31,641
事業活動支出	86,797	118,438	△ 31,641
教育活動外収支差額	0	0	0
経常収支差額	8,176	580,892	△ 572,716
特別収支			
事業活動収入	16,348	28,447	△ 12,099
事業活動支出	0	0	0
特別収支差額	16,348	28,447	△ 12,099
予備費	0	0	0
法人本部費配賦額	△ 13,820	△ 5,091	△ 8,729
基本金組入前当年度収支差額	38,344	614,430	△ 576,086
基本金組入額合計	△ 1,250,427	△ 1,193,324	△ 57,103
当年度収支差額	△ 1,212,083	△ 578,893	△ 633,190
前年度繰越収支差額	6,752,498	6,752,498	0
基本金取崩額	5,446	5,418	28
翌年度繰越収支差額	5,545,861	6,179,023	△ 633,162

(参考)

事業活動収入計	12,474,997	12,536,948	△ 61,951
事業活動支出計(※)	12,436,653	11,922,518	514,135

経常収入	12,429,749	12,478,013	△ 48,264
経常支出	12,421,573	11,897,120	524,453

(※)法人本部費配賦額を含む。

+繰越収支差額)の状態を表しています。資産の部では、固定資産のうち有形固定資産について、前年度末より変動が大きい建物・構築物・教育研究用機器備品は、レーモンド・リノベーション・プロジェクトはじめ、近年の大型工事により取得した固定資産の減価償却による影響が主な要因です。また特定資産では、先述した学修環境整備給付金の支給に際して、従来設定していた特定資産(南山大学短期留学奨学金引当特定資産)を取り崩し、新たな特定資産(学生緊急支援引当特定資産)を設定したうえで、その特定資産より支出しています。負債の部は長期借入金返済のため前年度末より減少していますが、これは過去のキャンパス整備計画(建物等取得)の際の支出に充てた借入金を返済したものであり、このことにより基本金(第1号基本金)の組入が発生し、純資産の部は前年度末より増加しています。

第4表 貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増減
固定資産	38,309,104	39,232,382	△ 923,278
有形固定資産	37,064,845	37,846,676	△ 781,831
土地	9,193,414	9,193,414	0
建物	19,403,343	19,979,443	△ 576,100
構築物	1,626,126	1,757,896	△ 131,770
教育研究用機器備品	884,066	1,010,506	△ 126,440
管理用機器備品	39,791	18,589	21,202
図書	5,914,241	5,880,372	33,869
建設仮勘定	3,863	6,455	△ 2,592
特定資産	1,149,191	1,192,009	△ 42,818
退職給与引当特定資産	140,000	140,000	0
減価償却引当特定資産	275,000	132,000	143,000
南山大学短期留学奨学金引当特定資産	200,000	500,000	△ 300,000
南山大学施設設備拡充引当特定資産	400,000	400,000	0
イ・ハツ工国際交流奨励金引当特定資産	20,011	20,009	2
学生緊急支援引当特定資産	114,180	0	114,180
その他の固定資産	95,068	193,697	△ 98,629
電話加入権	5,672	5,672	0
施設利用権	4,339	4,339	0
長期貸付金	18,159	44,946	△ 26,788
差入保証金	7,020	0	7,020
ソフトウェア	59,878	138,740	△ 78,861
流動資産	33,923,584	33,627,799	295,785
現金預金	33,515,973	33,394,886	121,087
未収入金	322,184	150,396	171,789
貯蔵品	11,175	7,778	3,397
立替金	123	610	△ 487
前払金	74,129	74,129	0
資産の部合計	72,232,688	72,860,181	△ 627,493

負債の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増減
固定負債	7,898,832	9,168,620	△ 1,269,788
長期借入金	5,764,180	6,246,930	△ 482,750
長期未払金	0	799,316	△ 799,316
退職給与引当金	1,971,287	1,962,470	8,817
徴収不能引当金	242	761	△ 519
長期預り金	163,123	159,143	3,980
流動負債	4,140,594	4,112,729	27,865
短期借入金	482,750	512,750	△ 30,000
未払金	1,291,274	1,081,764	209,509
前受金	1,902,599	2,096,106	△ 193,508
預り金	463,971	422,108	41,863
負債の部合計	12,039,425	13,281,348	△ 1,241,923

純資産の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増減
基本金	54,014,239	52,826,334	1,187,906
第1号基本金	48,502,989	47,309,665	1,193,324
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	4,603,251	4,608,669	△ 5,418
第4号基本金	908,000	908,000	0
繰越収支差額	6,179,023	6,752,498	△ 573,475
翌年度			

2021年度予算について

本学における収入構造を財務比率から見ると、第5表が示す通り、2020年度決算では学生生徒等納付金比率76.5%、補助金比率11.3%となっており、学生生徒等納付金と補助金が収入の大部分を占めています。この収入構造は2021年度予算においても同様です。2021年度も引き続き、学生数確保、および補助金・寄付金などの外部資金獲得を目指します。なお、寄付金に関しては、大学創立75周年を迎えるにあたり、南山学園創設者であるヨゼフ・ライネルス(Fr. Joseph Reiners)神父の名を冠した「ライネルス中央図書館構想」として図書館リニューアル事業の検討を開始し、この75周年を記念したプロジェクトへご支援いただくために「創立75周年記念募金」を実施すること

といたしました。

また、大学創立75周年の記念事業は、4月にキャンパス内で行ったキックオフイベントを皮切りに、『南山大学75年史』の編纂、記念グッズの作成・販売等々、様々な事業が展開される予定です。

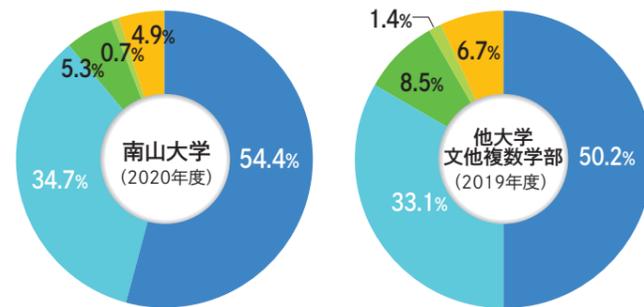
国際化推進における事業としては、2022年2月キャンパス北側に完成予定の建物を一棟借り上げ、新しい国際学生宿舎(以下、新国際寮)とし、来年度4月から学生の受け入れを開始します。この新国際寮は、神言修道会の創設者聖アーノルド・ヤンセン(St. Arnold Janssen)神父の名を冠した、「南山大学ヤンセン国際寮(Nanzan University Janssen International Residence)」とします。新国際寮は、本学の国際化推進の要の一つであり、留学生の受け入れをいっそう促進するものとなるはずで

第5表 財務比率
事業活動収支計算書関連

比率	計算式	南山大学			他大学	評価
		2018年度	2019年度	2020年度	2019年度	
人件費比率	人件費/経常収入	52.7%	54.1%	54.7%	50.5%	↓
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	67.6%	68.9%	71.5%	60.3%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	39.6%	33.8%	34.8%	33.3%	↑
管理経費比率	管理経費/経常収入	5.7%	5.6%	5.3%	8.6%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息/経常収入	0.5%	0.6%	0.5%	0.1%	↓
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	78.0%	78.4%	76.5%	83.8%	↑
補助金比率	補助金/事業活動収入	9.0%	10.4%	11.3%	6.6%	↑
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	4.9%	5.4%	9.5%	9.5%	↑
減価償却額比率	減価償却額/経常支出	10.2%	12.1%	12.1%	11.9%	～

事業活動収入に対する比率

比率	南山大学	他大学文他複数学部
	2020年度	2019年度
人件費	54.4%	50.2%
教育研究経費	34.7%	33.1%
管理経費	5.3%	8.5%
その他の事業活動支出額	0.7%	1.4%
基本金組入額+当年度収支差額	4.9%	6.7%



貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学	評価
		2019年度	2020年度	2019年度	
純資産構成比率	純資産/(総負債+純資産)	81.8%	83.3%	88.2%	↑
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額/(総負債+純資産)	9.3%	8.6%	△16.1%	↑
流動比率 ^(※1)	流動資産/流動負債	705.6%	708.1%	260.2%	↑
減価償却比率 ^(※2)	減価償却累計額/減価償却資産取得価額	42.7%	45.3%	116.5%	～
総負債比率	総負債/総資産	18.2%	16.7%	11.8%	↓
負債比率	総負債/純資産	22.3%	20.0%	13.3%	↓

(注)他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団令和2年度版「今日の私学財政」より、事業活動収支計算書関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。

評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

純資産=基本金+繰越収支差額

総負債=固定負債+流動負債

※1南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

※2分子・分母とも図書を除く

第6表 2021年度 資金収支予算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部		予算額
科目		予算額
学生生徒等納付金収入		9,854,570
手数料収入		695,223
寄付金収入		253,750
補助金収入		1,362,739
資産売却収入		30
付随事業・収益事業収入		197,280
受取利息・配当金収入		70,718
雑収入		212,095
借入金等収入		0
前受金収入		2,065,710
その他の収入		2,370,374
資金収入調整勘定		△ 2,221,332
当期収入合計		14,861,157
前年度繰越支払資金		32,841,970
収入の部合計		47,703,127

支出の部		予算額
科目		予算額
人件費支出 (退職金支出)		6,986,437 (279,731)
教育研究経費支出		3,134,497
管理経費支出		734,673
借入金等返済支出		59,817
借入金等返済支出		482,750
施設関係支出		121,030
設備関係支出		219,019
資産運用支出		145,002
その他の支出		3,145,133
予備費		25,329
資金支出調整勘定		△ 79,629
法人本部費配賦額		380,491
当期支出合計		15,354,549
翌年度繰越支払資金		32,348,578
支出の部合計		47,703,127

第7表 2021年度 活動区分資金収支予算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで) (単位:千円)

科目		予算額
教育活動資金収支	学生生徒等納付金収入	9,854,570
	手数料収入	695,223
	特別寄付金収入	248,450
	一般寄付金収入	5,300
	経常費等補助金収入	1,362,319
	付随事業収入	197,280
	雑収入	212,095
	教育活動資金収入計	12,575,237
	人件費支出	6,986,437
	教育研究経費支出	3,134,497
管理経費支出	734,673	
教育活動資金支出計	10,855,607	
差引	1,719,630	
調整勘定等	△ 159,581	
教育活動資金収支差額	1,560,049	
施設整備等活動資金収支	施設設備補助金収入	420
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	0
	その他の引当特定資産取崩収入	0
	施設整備等活動資金収入計	420
	施設関係支出	121,030
	設備関係支出	219,019
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
	その他の引当特定資産繰入支出	145,000
	施設整備等活動資金支出計	485,049
	差引	△ 484,629
調整勘定等	△ 608,153	
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,092,782	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	467,267	
その他の活動資金収支	借入金等収入	0
	長期貸付金回収収入	24,955
	短期貸付金回収収入	250
	預り金受入収入	2,077,647
	貯蔵品売却収入	30
	その他の収入	3,363
	小計	2,106,245
	受取利息・配当金収入	70,718
	過年度修正収入	0
	その他の活動資金収入計	2,176,963
	借入金等返済支出	482,750
	長期貸付金支払支出	50,500
	短期貸付金支払支出	1,750
	預り金支払支出	2,072,440
	その他の支出	64,545
小計	2,671,985	
借入金等利息支出	59,817	
その他の活動資金支出計	2,731,802	
差引	△ 554,839	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	△ 554,839	
予備費	25,329	
法人本部費配賦額	380,491	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費)	△ 493,392	
前年度繰越支払資金	32,841,970	
翌年度繰越支払資金	32,348,578	

第8表 2021年度 事業活動収支予算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで) (単位:千円)

科目		予算額
教育活動収支	学生生徒等納付金	9,854,570
	手数料	695,223
	寄付金	257,250
	経常費等補助金	1,362,319
	付随事業収入	197,280
	雑収入	212,108
	教育活動収入計	12,578,750
	人件費 (退職給与引当金繰入額)	6,878,800 (172,094)
	教育研究経費 (減価償却額)	4,466,486 (1,327,625)
	管理経費 (減価償却額)	850,457 (115,784)
徴収不能額等	0	
教育活動支出計	12,195,743	
教育活動収支差額	383,007	
教育活動外収支	事業活動収入	70,718
	その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計	70,718
	事業活動支出	59,817
	その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	59,817	
教育活動外収支差額	10,901	
経常収支差額	393,908	
特別収支	資産売却差額	0
	その他の特別収入 (現物寄付) (施設設備補助金) (過年度修正額)	15,420 (15,000) (420) (0)
	特別収入計	15,420
	資産処分差額	6,000
	その他の特別支出	0
	特別支出計	6,000
	特別収支差額	9,420
	予備費	25,329
	法人本部費配賦額	362,453
	基本金組入前当年度収支差額	15,546
基本金組入額合計	△ 1,424,542	
当年度収支差額	△ 1,408,996	
前年度繰越収支差額	5,545,861	
基本金取崩額	0	
翌年度繰越収支差額	4,136,865	
(参考)		
事業活動収入計	12,664,888	
事業活動支出計 ^(※)	12,649,342	
経常収入	12,649,468	
経常支出	12,255,560	

(※)法人本部費配賦額を含む。

(大学本部長 福田 尚登)

Special Events Schedule

2021.10.2

野外宗教劇「受難」

第55回野外宗教劇「受難」は、動画配信にて開催します。

▼詳細はこちらにてお知らせします。
大学公式Webページ「イベント情報」

https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/calendar/2021_10.html



たいという想いや、コロナ禍の中で物理的な距離は保ちながらも心で繋がれるような大学祭にしたいという願いが込められております。

当日は、学内団体によるステージ企画や、クラブ・サークルによる活動内容の展示・発表、模擬店に加えて、オンライン企画も予定しています。感染症対策として、例年の大学祭と比べて規模を縮小し、入場制限を行う予定です(事前予約制の導入を検討中)。

▼詳細はこちらをご覧ください。
大学祭Webページ

<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/club/gakusai/>



▲2019年度開催時の様子



2021.11.6

受験生のための入試説明会

11月6日(土)に、「受験生のための入試説明会」を開催します。これは、本学の一般選抜(一般入試、全学統一入試、共通テスト利用入試)の受験予定者向けのイベントで、当日は入試説明・留学制度紹介・キャリア支援制度紹介などを実施します。個別相談コーナーや在学生によるキャンパスツアーも実施予定で、一部の企画はオンライン配信も予定しています。

▼詳細はこちらをご覧ください。
大学公式Webページ「受験生の皆様」

<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>



▲2020年度実施の様子



※上記イベントは、今後の状況によって、内容が変更となる可能性があります。

Information

後援会定例評議員会

今年度の南山大学後援会定例評議員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2021年6月26日(土)にオンラインにて開催しました。南山大学後援会は在学生の保護者によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から56名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2020年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2021

後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2020年度決算	2021年度予算
収入の部		
前期繰越金	2,721,162	6,118,626
入会金	2,168,000	2,286,000
会費	175,280,000	175,000,000
合計	180,169,162	183,404,626
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	163,000,000	165,000,000
留學生支援活動援助費	(61,000,000)	(61,000,000)
教育研究図書援助費	(68,200,000)	(70,000,000)
履修関係費	(8,100,000)	(8,100,000)
広報活動援助費	(7,000,000)	(7,000,000)
課外活動援助費	(15,000,000)	(15,000,000)
就職指導活動費	(3,700,000)	(3,900,000)
後援会活動費	7,050,536	10,000,000
保護者の集い	(1,115,127)	(2,000,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(4,335,818)	(5,900,000)
事務費	(399,591)	(900,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	6,118,626	4,004,626
合計	180,169,162	183,404,626



年度事業計画(案)および予算(案)について審議・承認され、2021年度は9月25日(土)に第49回「保護者の集い」を大学と共催することが決定されました。

また、本評議員会をもって理事長を退任される白木千之様に、キサラ学長から感謝状と記念盾が贈呈されました。新理事長には森下亜矢様が就任されました。

後援会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/>



後援会貸借対照表

2021年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	83,027,293	課外活動援助基金	35,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	6,118,626
合計	83,027,293	合計	83,027,293

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	31,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
当年度取崩金	0		
合計	35,724,604	合計	41,184,063

寄附者ご芳名

「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト募金」へのご協力に感謝いたします。

後藤 悟様 久代利通様 和田昌恵様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

大竹金属株式会社 代表取締役 大竹喜一郎様
匿名ご希望者 2名様・1団体様

「新型コロナ対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

匿名ご希望者 2名様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

安川 祐一様 加藤 伸啓様
匿名ご希望者 4名様
愛知株式会社 取締役社長 島本 迪彦様

友の会

友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月1日現在の会員数は一般会員181名、法人会員119法人となっています。

今年度の南山大学友の会評議員会・総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり、役員による書面審議が行われました。(1)2020年度事業報告および決算報告、(2)2021年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。

南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費]一般会員 1口 10,000円

法人会員 1口 30,000円

※何口でもお申込みいただけます。

友の会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/index.html>



新任用教員紹介

2021年8月1日付

●国際センター

講師 藤本 純子

(専攻分野: 応用言語学、日本語教授法)

2021年9月1日付

●外国語学部

講師 森山 貴仁

(専攻分野: 政治学、アメリカ研究)

講師 WILSON, John

(専攻分野: 英語教育)

退職

2021年5月13日付

●理工学部

教授 青山 幹雄

2021年8月31日付

●外国語学部

講師 平松 彩子

2021年8月24日付

●人文学部

教授 坂中 正義

●外国人留学生別科

語学講師(L.I.) 磯山 真紀

人文学部教授 坂中正義氏のご逝去

人文学部教授の坂中正義氏(50歳)が、2021年8月24日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。



南山大学

発行 広報・募金課 / 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: pr-gaku@nanzan-u.ac.jp <https://www.nanzan-u.ac.jp/>